

2019年度第5回高知県言語聴覚士会理事会

日時 2019年10月2日(水) 19:00~20:30

場所 いずみの病院

出席 西田 石川 池 川上 小松 高野 谷本 中平 野田 森下 山本(光)山本(理)横島 吉村 若林 矢野(書記)

欠席 なし

【検討・報告事項】

1. 教育部

- ・基礎講座；10/20開催に向け準備中。2回目は2/9AMの開催予定。高知リハビリテーション専門職大学にて。「協会の機構と役割」(大崎会員)、「言語聴覚療法の動向」(川上理事)、「研究法序論」(吉村理事)。
- ・専門講座；3/1高知県言語聴覚学会の前に9時~の開催予定。
- ・ポイント取得対象研修会実施報告書を作成中。

2. 巡回相談事業

- ・9/29の研修会参加者は11名。STから施設長への相談・報告をしていない参加者がいた。過去に施設から問合わせや断りの連絡が入ったこともある。今後、施設長の許可を確認し公文書を送付するようにする。

3. 会報編集部

- ・部会ミーティング；9/20に編集会議を実施した。参加者9名。
- ・執筆者を広げるように努力していく。固有の施設に偏った内容にならないように注意する。

4. 意思疎通支援事業

①県との話し合い報告；

- ・広報；チラシ300部程度。テレビ・ラジオ・市の広報なども活用する。
- ・報償費；こちらからは7000円を提示したが他の報償費(手話通訳など)との兼ね合いで決定するとのこと。
- ・会場；県の委託事業になればオーテピアは無料で使用できるので今後検討することにする。
- ・実習；4日間28時間。土曜日限定として3ヶ月内で選択できるようにしては、との提案あり。
- ・定員；20名。満たない場合には会員を入れ20名にする。STは実習免除、支援者として登録され報償費も出る。
- ・派遣につなげることが目的であることを強調された。県が統括、県士会が協力する形で進める。来年研修会、再来年から派遣することで予算を組むとのこと。次回の指導者養成研修への派遣は2名で予算請求する。

②2020年度年間計画；6月広報開始、11月実習終了。今後詳細を詰めていく。予算は60万円程度。参加費は無料の方向。

- ・こじやりは土曜行っており、実習4日間を2ヶ月間での実施を検討。実習は順不同。複数団体に分けることを検討。
- ・次回の派遣者2名は今後検討。

5. 災害対策部

- ・9/9県災害リハビリテーション研修会へのSTの参加は15名。近森病院管理棟にて。
- ・安否確認カード；GoogleフォームのQRコードを載せたカードを会員に配布し活用する。他県のもを参考にデザイン考案中。
- ・Googleフォーム；会員かどうかはわからないので、氏名を記入してもらうことも検討。パスワード設定することも可能だが緊急時の使用であるため設定はしない。県士会ホームページとリンクさせる。災害以外に使用する場合は会員番号を入れるようにし、会費の照会ができるようにする。協会に番号請求する(事務局)

6. その他

- ・訪問リハ財団；ホームページに掲載する。
- ・地域ケア会議・介護予防事業 アドバイザー養成；予算の都合上人数制限あり。案内送付は施設・自宅会員宛に送付。
- ・機器展；スタッフ募集の案内を学会でもよいか問合わせあり。チラシ配布は承認。正式な依頼文書もらう。
- ・法人化；今年情報収集、次回総会で諮る。承認後具体的に動き、次年度か次次年度に法人化へ。歯科衛生士会の動きも参考にしていく。
- ・次回理事会で総会講師を検討する。

次回 2019年11月6日(水) 19:00~ いずみの病院にて